学校番号	２０７

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　新版」（東京書籍）						
副教材等	「読解を大切にする　要点プラス　体系古典文法」（数研出版） 「クリアカラー国語便覧」（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ

・１年生で学んだ古典の基礎力を定着させ、さらに伸ばしていくことを心がけましょう。
・２年生に引き続き、文法をさらに深く勉強していきます。暗記することも多くなるので、授業を大切にし、一回一回の授業で内容を理解するように心がけましょう。
・できるだけ親しみやすく、興味を引く古文と漢文の作品を読んでいきますので、内容を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることにより人生を豊かにする態度を身につけることができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）			記述の確認及び分析（プリント） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	俳諧	【古文】 教材: ・『芭蕉』「富士川」「吉野の花」 ・『蕪村』「月夜の卯兵衛」「歳末弁」 ・『去来抄』「向井去来」 ・『三冊子』「服部土芳」 文法…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	説話2	【古文】 教材: ・『十訓抄』「成方といふ笛吹き」 ・『宇治拾遺物語』「留志長者のこと」 ・『発心集』「蓮花城、入水のこと」 文法…助動詞・敬語	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	日記2	【古文】 教材: ・『紫式部日記』「女郎花」「うきたる夜」 ・『和泉式部日記』「夢よりもはかなき世の中を」「有明の月に」 ・『十六夜日記』「駿河路」「有明の月に」 文法…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論1	【古文】 教材: ・『古今和歌集仮名序』「やまと歌は・六歌仙」 ・『俊頼髄脳』「鷹狩りの歌」 ・『無名抄』「おもて歌のこと」 ・『正徹物語』「亡き人を恋ふる歌」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	詩3	【漢文】 教材: 「秋浦歌」「独坐敬亭山」「早発白帝城」「月下独酌」「石壕吏」「月夜」「登高」「登岳陽楼」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史話	【漢文】 教材: 「赤壁之戦」「竭股肱之力」「出師表」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史記2	【漢文】 教材: 「風蕭蕭兮易水寒」「図窮而匕首見」「俛出袴下」「背水陳」「狡兎死、良狗亨」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	白楽天と日本文学	【漢文】 教材: 「長恨歌」 ・『源氏物語』 「桐壺」 ・『枕草子』 「木の花は」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説2	【漢文】 教材: 「桃花源記」「離魂記」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	思想2	【漢文】 教材: 「礼之用和為貴」「無恒産、無恒心」「無為之治」「人之性悪」「小国寡民」「兵形象水」「兼愛」「母之愛子也」「侵官之害」 文法…句法	○				○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査
	文2	【漢文】 教材: 「捕蛇者説」「売油翁」 文法…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	物語4	【古文】 教材: ・『落窪物語』 「姫君の苦難」 ・『堤中納言物語』 「このついで」 ・『夜の寝覚』 「夢に琵琶を教ふる人」 文法…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論2	【古文】 教材: ・『無名草子』 「清少納言」「紫式部」 ・『源氏物語玉の小櫛』「もののあはれの論」 ・『風姿花伝』「年来稽古条々」 文法…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	物語3	【古文】 教材: ・『源氏物語』 「車争ひ」「須磨の秋」「夜深き鶏の声」「萩の上露」 文法…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	近世の文章2	【古文】 教材: ・『雨月物語』 「浅茅が宿」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	上代の文学	【古文】 教材: ・『古事記』 「倭建命」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古典の注釈	【古文】 教材: ・『百人一改観抄』 ・『宇比麻奈備』 ・『百首異見』	○				○	a:話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち,根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べるようとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 e:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。